



重厚感のあるたたずまい本館と別館(左)



湖畔周回道路からホテルの専用道路へ

みちのく
ココロと
カラダの
癒し旅

達人の旅指南
第109回(最終回)
フリーライター 加藤隆悦

十和田ホテル

小坂町
十和田湖畔

幻の東京オリンピック

来年にはいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催される。わが国での夏季オリンピックの開催は、昭和39(1964)年の東京オリンピックからおよそ半世紀ぶりのことになる。

実は戦前の昭和15(1940)年にも東京でオリンピックが予定されていた。このオリンピックが史上初めての欧米ではないアジア圏での開催になるはずだったが、国際情勢の悪化に伴い、見送られた。

この年のオリンピックに海外か



十和田ホテルは十和田カルデラ外輪山の深い森の中にたたずむ

ら訪れるであろう観光客のために、政府の要請で国内5カ所にホテルが建設された。そのうちのひとつが、十和田湖西湖畔に立つ十和田ホテルである。オリンピックは幻に終わってしまったが、外国人観光客を迎えるのにもふさわしい威風堂々たるホテルは、今に残された。



発荷峠から十和田湖のパノラマを望む



湖水側に面したダイニングルーム



前菜はバラエティに富んだ秋田の味が並ぶ

1 郷土の鍋はだまっこ鍋 2 地元の恵みとしてヒメマスの塩麹焼き 3 海の幸はブリと薫焼きカツオ 4 国産牛のローストをきのこ玉ねぎのソースで 5 炙りトラウトサーモンのマリネ 6 食事は季節感を演出 7 デザートは山ぶどう羊羹、栗のパバロア、バター餅



1 本館の旧玄関は圧倒的な和風建築美を誇る 2 ラウンジは外国のホテルのような雰囲気 3 滞在中優雅に読書を楽しめる図書室 4 全室レイクビューの窓からは湖水越しの日の出が見られる 5 風格のある客室「牡丹(ぼたん)」 6 別館は全室洋室



近年はリブボートクルーズが人気。ホテルで利用割引券を提供する(写真提供:リブパイオニア)

終わったオリンピックに思いをはせながら歴史や趣を肌で感じてみてはいかがだろうか。

近年は十和田湖のアクティビティとして、エキサイティングなリブボートでのクルーズも人気のようだ。ホテルで頒布する割引券でリーズナブルに利用できる。

ホテルと湖畔随一のにぎわいエリア「休屋」地区の間はホテルの無料送迎バス(要予約)が運行されている。また、公共交通機関を利用して宿に向かう場合は、期日限定だがJR花輪線の鹿角花輪駅や十和田南駅と休屋の間を十和田タクシーが運行する予約制バス「八郎太郎号」が結んでいる。このバスを利用すれば、十和田湖から八幡平の各温泉や八幡平山頂まで移動することも可能

秋田の魅力を目と舌で

現在の十和田ホテルは、秋田杉をふんだんに使って北欧の山荘風の外観を持つ本館(全室和室)と、平成10(1998)年に増築された別館(全室洋室、バリアフリー仕様あり)がある。本館の客室は一つ一つ異なる意匠が施され、北東北3県から集結した約80名の宮大工が技を競い合った建設当時の意気込みが伝わってくる。本館別館とも、全ての客室がレイクビューで、窓から眺める湖越しに昇る朝日は神々しいものがある。

大浴場は温泉ではないが、湯船には十和田湖外輪山の自然水をたたえており、その湯は肌に優しい印象を持つ。露天風呂とともに湖面に向けており、日の出の頃にもぜひ入浴したいものだ。

食事は地場の食材を中心にして、見た目にも郷土色と季節感



十和田湖の見晴らしを独り占めする露天風呂

を強く感じさせる内容になっている。十和田湖名産のヒメマスも、一手間加わった焼き魚料理に仕上がっている。グルメ志向の人にもぜひ味わってほしい。

東京五輪年に泊まろう

冬期休業期間(11月10日〜来年4月16日)が終わり、緑あふれる観光シーズンを迎えると、7月には東京オリンピックが開幕する。十和田ホテルに泊まって、幻に

だ(2020年の運行計画は未定、詳細は鹿角市のホームページで事前を確認を)。

さて、2001年9月にスタートした本連載は、通算109回の今回をもって旅の終わりを迎えます。長きにわたるご愛読を心より感謝いたします。この先も読者の皆さんは、どうぞよい旅を!

(文・写真)かとうりゅうえつ 秋田市

十和田ホテル
TOWADA HOTEL

〒018-5511 小坂町十和田湖西湖畔
TEL.0176-75-1122
FAX.0176-75-1313
https://towada-hotel.com/

※各種宿泊プランがあります。詳細はホームページをご覧ください。